Publication: Tsushin Kogyo Shimbun (Ono Norio)

Article Title: Series 3 NetEvents 2016 USA (Page 4)

Netscout Strengthens APAC Strategy

Jim McNeil (CMO)

通信興業新聞

通信興業新聞社
発行所 東京都中央区銀座7－3－13
発行人 小野憲男
郵便番号 104-0061
電話 (03)3572-4488(代)
FAX (03)3572-4866
振替口座 00170-6-100661

シリーズ

進化するテレコム市場 ③

「NetEvents 2016 USA」から

APAC戦略を強化

IoT領域で通信可視化

ネットスカウト

米マサチューセッツ州に本社を置くネットスカウトの設立は1984年。キャリアグレードのイーサネットトラフィック測定ツールを92年に出荷開始し、メインフレーム製品のアプライアンス型LANアナライザ「nジニアス」シリーズは当初1メガ級だった回線速度が現在100ギガ級をカバー。製品ポートフォリオも計測器からセキュリティ製品、IPフロースイッチまで拡充し、95年度売上高で12億円のトータルネットワークベンダに成長した。このうち通信キャリア／ISP向けは売り上げが5割で、北米のベライゾン、AT&Tなども有力顧客になっているほか、欧州、アジア22カ国にS）を買収し新たなスタートを切った。

シリコンバレー・サラトガの開発拠点

現地オフィスを構え、全世界に販路を拡大しており、海外売上比率は40%を占める。

同社は15年に、ライフサイエンス、計測機器、環境、産業機器、デンタル機器などの分野で高いシェアを持つコンズ、官公庁などにおいて、ネットワークポリシーを決定する上で、データ収集・分析が重要な鍵を握る。ネットスカウトのネットワークパフォーマンス・マネジメント製品は、顧客のネットワーク上に流れるデータをキャプチャし、リアルタイムに解析を行い、アプリケーションのレスポンスタイム、エラーコード、トランザクション通信興業新聞の取材に対し、ネットワーク可視化を実現する製品群「nジニアスサービスアシュアランスソリューション」の優位性について次のように語った。

「金融、通信キャリア／ISP、エンタープライズ、官公庁などにおいて、グローバル企業のダナハー（フルークネットワークス、アーバーネットワークス、テクトロニクス、VSI）から情報通信部門4社のぼってネットワークの障害をパケットレベルで解析するトラブルシューティングの用途でも大きな効果を発揮する」

今後のアジアパシフィック地域への進出の手段としてOEM戦略を展開するという。すでに中国IT業界最大手デジタルチャイナグループとOEM契約を結び、中国市場のITサービス分野でネットワークアプライアンス製品を展開している。

日本ではSCSKが総代理店として「nジニアスサービスアシュアランスソリューション」を国内で提供。加えて16年5月からフルークネットワーク製品群の販売とサポートを開始。新たに高度な通信可視化、トラブルシューティングを実現する体制が整った。これにより今後の市場トレンドであるデジタル変革およびIoT領域で、いっそう複雑化するアプリケーションの高機能化、ビッグデータ化によるネットワークトラフィックの増加に対応し、容易な障害解析の仕組みを提供するとしている。

ジム・マクニールCMO

さらにネットスカウトは今年9月15日、東洋計測器と戦略的パートナーシップを締結。東洋計測器はネットスカウトが業界をリードする次世代モバイルテスター総代理店となる。同社は、ネットスカウトの企業向け製品ポートフォリオすべての販売、サービスアシュアランスソリューションから携帯型ネットワーク分析およびトラブルシューティングツールまで網羅したチャンネルパートナー向けプログラム「コネクト360」にも加わる。ネットスカウトは同プログラムを通じて、普及が進む802・11ac規格対応のWi-Fiネットワークのトラブルシューティングや診断、アクセスポイントのバックホール試験、および結果をさらに効率的に管理できるクラウドサービスを提供。日本市場でのシェアを伸ばしたい考えだ。